

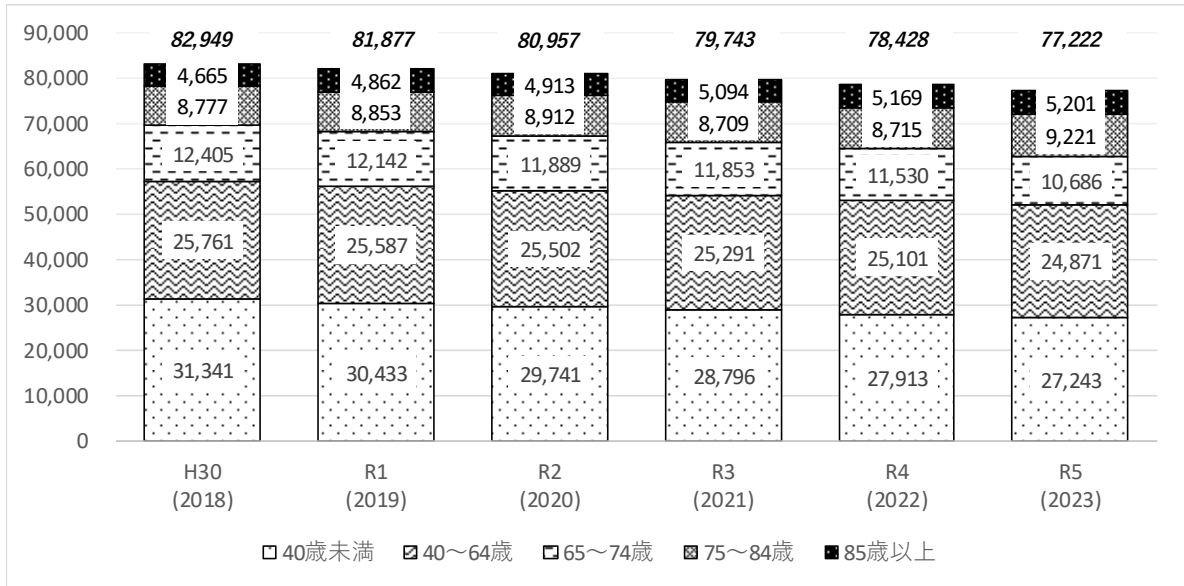
## 第2章 舞鶴市の高齢者などの状況

### 1. 人口・高齢化率の推移

#### (1) 年齢区分別人口・高齢化率の推移

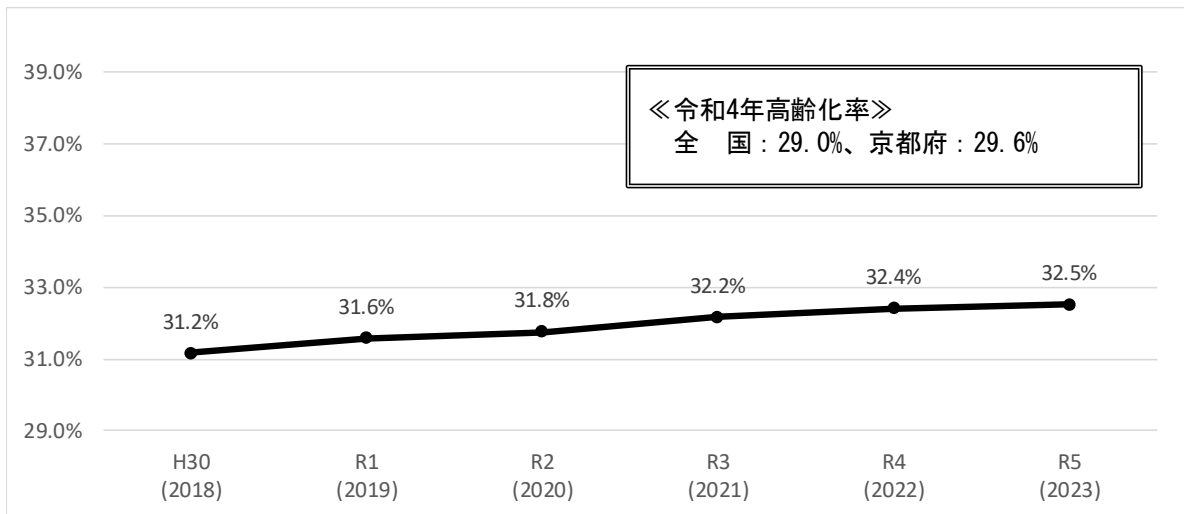
本市の近年の人口推移をみると、5年間で約5,700人余り減少し、令和5(2023)年で77,222人となっています。一方で高齢化率は32.5%と、国や京都府よりも高い値で年々増加しており、後期高齢者の人口が前期高齢者を上回り、年々増加しています。

##### 【人口】



(各年4月1日現在の住民基本台帳数値)

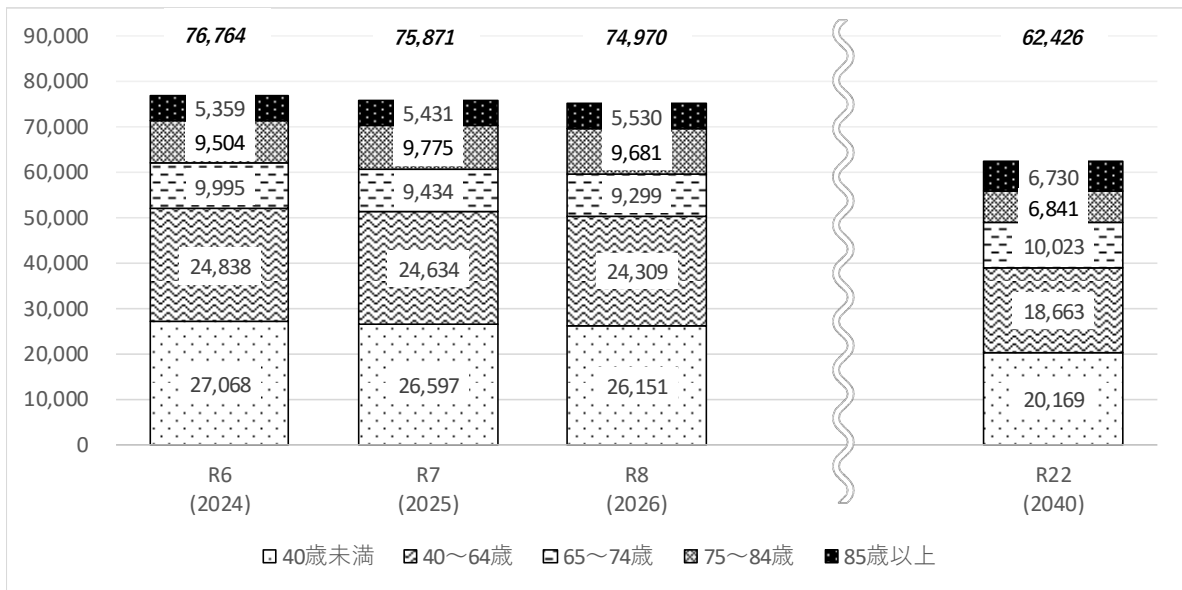
##### 【高齢化率】



## (2) 年齢区分別人口・高齢化率の将来推計

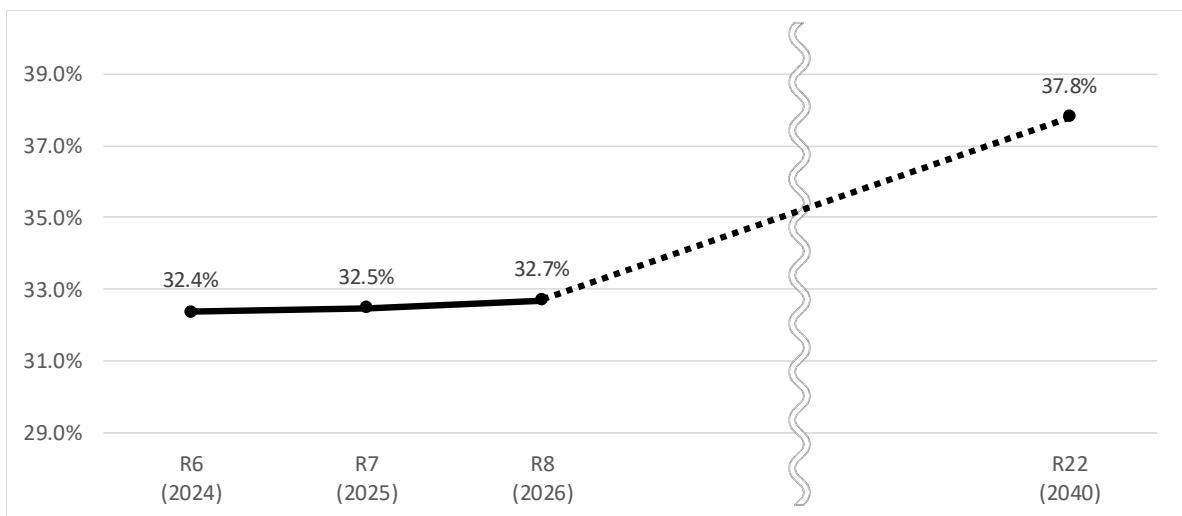
本市の将来の人口推移をみると、年々減少傾向にあり、本計画期間の終了時期の令和8(2026)年には、74,970人まで減少して、高齢化率は32.7%、後期高齢者の割合は20.3%と予測されています。以降さらに人口減少とともに高齢化が進行し、令和22(2040)年には高齢化率が37.8%、後期高齢者の割合は21.7%、そのうち85歳以上の高齢者が10%を超えると予測されています。

### 【人口】



(国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」補正值[厚生労働省])

### 【高齢化率】



## 2. 高齢者の状況

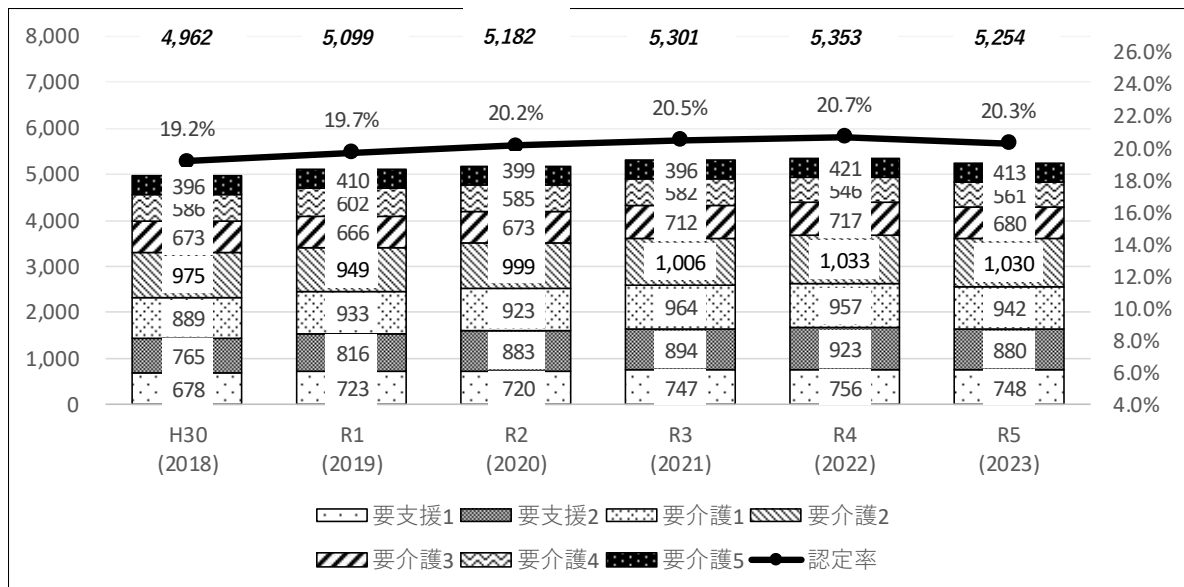
### (1) 要介護認定者数・認定率の状況と推計

要介護認定者は平成 30 年度から微増傾向で推移しており、認定率もほぼ同様の傾向を示しています。

令和 22 (2040) 年に向け、要介護認定者数・認定率とも緩やかに増加していくと見込まれます。

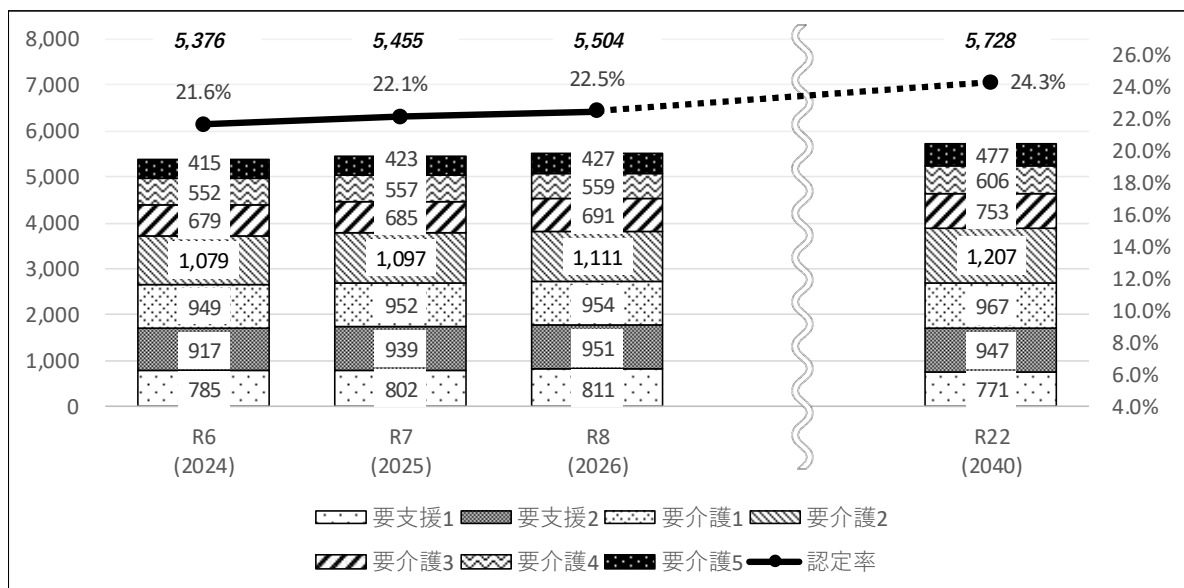
#### ■ 65 歳以上の要介護認定者数・認定率の推移

(各年 9 月末現在)



#### ■ 65 歳以上の要介護認定者数・認定率の推計

(国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(令和 5(2023)年推計)」補正值[厚生労働省])



## (2) 認知症高齢者の推移

我が国の65歳以上の認知症高齢者数は、平成24(2012)年時点で約462万人と、65歳以上の高齢者の7人に1人でありましたが、令和7(2025)年には約700万人、5人に1人になることが国の調査で推計されています。

本市でも、中・重度の認知症高齢者数は、令和2年3月には3,149人でしたが、令和5年3月には3,224人に増加しました。これは、要介護認定者の60.3%（第1号被保険者の12.8%）を占めており、高齢化の進展に伴い今後更に増加するものと見込まれます。

日常生活自立度	H29.3 (2017)	R2(2020).3.31				R5(2023).3.31			
	合計	合計	40～64歳	65～74歳	75歳以上	合計	40～64歳	65～74歳	75歳以上
①正常・I	1,905	2,067	36	275	1,756	2,125	46	258	1,821
	38.5%	39.6%	58.1%	55.3%	37.7%	39.7%	56.8%	55.5%	37.9%
②II (a,b)	1,721	1,791	14	126	1,651	1,903	23	128	1,752
	34.8%	34.3%	22.6%	25.4%	35.5%	35.6%	28.4%	27.5%	36.5%
③III (a,b), IV、V	1,323	1,358	12	96	1,250	1,321	12	79	1,230
	26.7%	26.0%	19.4%	19.3%	26.8%	24.7%	14.8%	17.0%	25.6%
④計 (①+②+③)	4,949	5,216	62	497	4,657	5,349	81	465	4,803
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
⑤ ②+③	3,044	3,149	26	222	2,901	3,224	35	207	2,982
	61.5%	60.4%	41.9%	44.7%	62.3%	60.3%	43.2%	44.5%	62.1%
⑥ 第1号被保険者数	25,814	25,738		11,861	13,877	25,108		10,686	14,422
⑦ ⑤/⑥	11.8%	12.2%		1.9%	20.9%	12.8%		1.9%	20.7%

(参考) 認知症高齢者の日常生活自立度

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
	IIa 家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
IIb	家庭内でも上記IIの状態がみられる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	
	IIIa 日中を中心として上記IIIの状態がみられる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
	IIIb 夜間を中心として上記IIIの状態がみられる。	ランクIIIaに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

### (3) 第1号被保険者一人あたりの介護給付費

第1号被保険者一人あたりの年間の介護給付費は、増加傾向で推移しています。

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023見込み)
総給付費 (千円)	7,296,794	7,575,994	7,600,592	7,559,027	7,690,406
対前年度伸び率	—	3.8%	0.3%	-0.5%	1.7%
介護給付費	6,586,989	6,820,804	6,894,628	6,899,500	7,019,842
居宅サービス費	2,279,377	2,344,737	2,255,190	2,200,081	2,250,429
地域密着型サービス費	1,154,629	1,237,954	1,309,336	1,390,288	1,435,012
その他のサービス	456,784	493,742	577,967	577,015	582,763
施設サービス費	2,696,199	2,744,371	2,752,135	2,732,116	2,751,638
介護予防給付費	245,570	274,741	288,322	281,878	286,216
居宅サービス費	183,923	202,018	210,774	205,218	206,789
地域密着型サービス費	8,025	9,959	11,035	10,256	12,712
その他のサービス	53,622	62,764	66,513	66,404	66,715
特定入所者介護サービス費	266,653	266,914	205,240	168,334	165,345
高額介護サービス費	189,946	205,520	204,246	201,181	210,778
審査支払手数料	7,636	8,015	8,156	8,134	8,225
第1号被保険者数(年度末)	25,739	25,666	25,421	25,116	25,080
うち 第1号認定者数	5,079	5,242	5,292	5,260	5,298
認定率 (第1号)	19.7%	20.4%	20.8%	20.9%	21.1%
1人あたり給付費(円)	283,492	295,176	298,989	300,965	306,635
対前年度伸び率(%)	—	4.1%	1.3%	0.7%	1.9%

#### (4) 後期高齢者医療費の推移

後期高齢者医療制度の被保険者数は年々増加しています。

医療費の状況をみると、入院は、受診率は横ばい、1件あたり費用額及び1人あたり費用額は増加傾向です。

入院外と歯科に関しては、受診率、1件あたり費用額及び1人あたり費用額のいずれも増加傾向です。

被保険者数の伸びから推測すると、今後、更に後期高齢者の医療費は増大するものと思われまます。

##### 【医療諸率の状況】

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
被保険者数 (人)		13,773	13,724	13,992
入院	受診率 (%)	74.41	75.22	74.79
	1件あたり費用額 (円)	559,031	576,227	597,611
	1人あたり費用額 (円)	415,996	433,430	446,969
入院外	受診率 (%)	1298.67	1309.94	1313.99
	1件あたり費用額 (円)	17,475	17,873	18,041
	1人あたり費用額 (円)	226,948	234,132	237,063
歯科	受診率 (%)	178.70	188.20	201.17
	1件あたり費用額 (円)	14,907	14,690	14,742
	1人あたり費用額 (円)	26,638	27,647	29,657
合計	受診率 (%)	1551.78	1573.35	1589.96
	1件あたり費用額 (円)	43,149	44,186	44,887
	1人あたり費用額 (円)	669,582	695,209	713,689

(京都府後期高齢者医療広域連合発出「医療費の状況」をもとに算出)

- 被保険者数 : 年間平均被保険者数
- 受診率 : 被保険者100人あたりの受診件数
- 1件あたり費用額 : 診療報酬明細書1枚あたりの総診療費用額
- 1人あたり費用額 : 被保険者1人あたりの総診療費用額

## (5) 高齢者のいる世帯の状況

人口は減少する一方、世帯数は増加しています。

本市においては、65歳以上の高齢者がいる世帯数は減少に転じていますが、全世帯に占める割合は、令和2(2020)年には全国平均や京都府平均よりも高い46.5%となっています。

また、高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯は増加しており、全世帯のうち27.5%と増加傾向で推移しています。

### 【世帯数の推移】

	舞鶴市			京都府	全国
	平成22年	平成27年	令和2年		
一般世帯数 (世帯) (A)	35,395	34,619	35,098	1,188,903	55,704,949
高齢者のいる世帯 (世帯) (B)	15,418	16,447	16,323	478,651	22,655,031
(B/A)	43.6%	47.5%	46.5%	40.3%	40.7%
高齢者単身世帯 (世帯) (C)	4,128	4,712	5,122	153,688	6,716,806
構成比 (C/B)	26.8%	28.6%	31.4%	32.1%	29.6%
高齢者夫婦世帯 (世帯) (D)	3,945	4,423	4,546	129,535	5,830,834
構成比 (D/B)	25.6%	26.9%	27.9%	27.1%	25.7%

※高齢者夫婦世帯は、夫婦とも65歳以上の世帯

(出典:国勢調査・各年10月1日現在)

### 3. アンケート調査結果からみる高齢者の状況

#### (1) アンケート調査の概要

日常生活圏域ごとの高齢者の生活実態、健康づくりや身体状況等に関する意識調査のほか、事業所・ケアマネジャーを対象とした介護保険サービスの意向調査、高齢者介護の状況把握調査を実施しました。

【調査期間】 令和4年12月～令和5年2月

#### 【調査概要】

調査の種類	対象	配布件数 (依頼件数)	回収件数 (回収率)
A. 一般高齢者調査	要介護認定を受けていない高齢者	19,217	8,560 (44.5%)
B. 事業対象者、要支援1・要支援2	事業対象者、要支援1・要支援2の高齢者	1,638	692 (40.4%)
C. 在宅介護実態調査	要介護1から要介護5の高齢者（在宅で生活されている高齢者）	2,000	891 (44.6%)
D. 事業所調査	市内の居宅・地域密着型・施設サービス事業所の管理者	105	98 (93.3%)
E. ケアマネジャー調査	居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターのケアマネジャー全員	100	96 (96.0%)

※ A・Bは、はつらつ度アンケート調査として実施。

※ アンケート調査結果については、巻末に掲載。